《発表記者会：東北電力記者会、宮城県政記者会》

Press Release

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成29年07月18日

東 北 運 輸 局

宮城交通㈱ノンステップバスの導入を促進

公共交通特定事業計画、認定される。

東北運輸局に申請していた宮城交通(株)の「公共交通特定事業計画（移動円滑化の促進を図るためのノンステップバスの導入）」が7月3日認可され同月7日交付されました。これにより同社のノンステップバス導入計画が促進され高齢者や車いす利用者などの利便性が向上されます。

宮城県におけるノンステップバスの導入率は37.1%（H27年度末現在）で前年比6.8ポイントと上昇しているものの、全国的にみると導入率順位は27位（前年29位）とまだまだ低いものとなっています。

仙台市では、平成18年に施行された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」に基づき平成24年度に「仙台市バリアフリー基本構想」の「全体構想」及び「地区別構想（都心地区）」を策定しました。その後、泉中央地区、長町地区及び北仙台地区についても地区別構想を策定し、重点的かつ一体的なバリアフリー化に取り組んでいます。この「地区別構想」策定後、公共交通事業者等は移動等円滑化のために必要な設備等の整備の具体的な内容を示した「特定事業計画」を策定しバリアフリー化を推進しています。

今回の宮城交通（株）のノンステップバス導入計画も公共交通特定事業計画として申請されたもので東北運輸局から今月3日に認可されました。同社の計画では今年度から平成32年度までの4年間で年間20台程度配備する予定となっています。

仙台市交通局からも昨年度、同様のノンステップバス導入計画が提出され認可されております。

国土交通省ではバリアフリー化の目標として平成32年度までにノンステップバスの導入率を約70%（※）にすることとしております。平成27年度末時点で東北地方全体ではまだ23.2%（前年比3.7ポイント増）で全国平均（50.1%）を下回っています。降雪地域が多いなど条件的には厳しい面もありますが高齢者、障害者などが安心して社会生活を営んでいただくため、また2020年東京五輪・パラリンピック開催を控え整備促進が求められています。

《問い合わせ先》

国土交通省

東北運輸局

自動車交通部 旅客第一課　佐藤 聡・小野寺 実

TEL：０２２－７９１－７５２９

交通政策部　消費者行政･情報課　黒滝 朗

TEL：０２２－７９１－７５１３

障害者差別解消法「差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」にご理解を♡

【資料】各機関関連情報公開サイト等

○国土交通省バリアフリー関連情報（国土交通省ホームページ）
国土交通省　ホーム>政策・仕事>総合政策>バリアフリー>
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/index.html

○ノンステップバス等の車両数の推移（平成27年度末）
国土交通省　ホーム>政策・仕事>総合政策>バリアフリー>公共交通移動等円滑化実績報告
http://www.mlit.go.jp/common/001151732.pdf

○乗合バスのバリアフリー化状況（平成27年度末）
http://www.mlit.go.jp/common/001151533.pdf

○仙台市バリアフリー基本構想全体構想、地区別構想
https://www.city.sendai.jp/kotsu-suishin/kurashi/machi/kotsu/kekakunado/barrier-free/

○宮城交通 バリアフリー　ノンステップバス　取組み
照会先　宮城交通　(022)771-5310

○仙台市交通局 交通バリアフリーへの取組み
https://www.kotsu.city.sendai.jp/kigyou/safety/barrierfree/index.html

※　移動等円滑化の促進に関する基本方針(平成18年12月15日告示、平成23年3月31日改正)において
バス車両(現時点においては、総車両数約6万台)については、「総車両数約6万台からバス車両の構造及び設備に関する移動等円滑化基準の適用除外認定車両(以下「適用除外認定車両」という。)約1万台を除いた約5万台のうち約**70**%に当たる約3万5千台について、平成32年度までにノンステップバスとする」とされております。

「ノンステップバス」とは
床面の地上面からの高さが概ね30cm以下であって、バリアフリー法の移動等円滑化基準に適合するバスです。